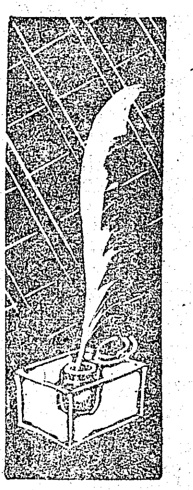
（大正十一年四月[illegible]日第三種郵便物認可）　昭和十六年四月十日　磐城毎日新聞　（木曜日）　第六千八十五號　〔一〕

九日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵稅　金十五錢
□一部賣　金二錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓半
□電話（平）　七八六番
□振替口座東京一〇八・共六五
發行所　福島縣平市田町十六番地　磐城毎日新聞社
發行兼編輯印刷人　森合英



閼伽井嵐

覺醒の小名濱町民

小名濱導師

事變第五年目を迎へた小名濱町民も非常時に透徹し、期せずして國策に副ふ劃期的とも云ふべき現れが隨所に見えてきた。

過般來本町愛婦會幹部が愛國機獻納運動で家庭に主婦を訪問し應分の寄附を慫慂したが何れも二つ返事で御奉公の一助になればと、中には贈繕金迄も投出すと云ふ熱心振りで幹部連を感激させたが、驚く勿れ應募金額が七千圓になんなんと。縣内四都市を尻目に第一位の好結果を收めたのである。剩さへ新加入金七百余圓も申込あつたと云ふのだから實に豪勢な醒め方と言はなければなるまい。

それに葬儀などの場合經費の節約を圖り必らず銃後奉公會に寄附をする。町内會、隣會の下部組織が結成されて以來は少年少女に至る迄各々團結し廢品を集め乃至は勤勞奉仕に從事し公益の爲めに協力を惜しまないのである。この意氣、この心組で益々精進する以上非常時突破は勿論の事であり、小名濱町發展の爲めにも喜ばしき傾向として一層の精進を望むものである。

過當利益

市民代表

勞せずして儲かる、これが最近何處へ行つても聞くお米屋さんの話です、どんな商賣でも原料や商品の配給に悩んでゐる時、勞せずして一定量を必ず配給される。自由經濟時代と少しも量が變らず、毎月七分宛利益配當受けこの外空俵や糠も儲かる。

こんなにお米屋さんだけ儲けさせると人心に惡い影響を與へます。お米の値段を下げるとか、利益を抑制する方法はありませんか？

光泉林の生活

エス生

（十二）

天香師を誰れでもみな、天香さんと呼んでゐる。お年は七十才であるが、すこぶるお元氣でいつも深く懺悔してゐる樣なお顔で居るが、お笑ひになると實に赤兒の樣に天眞爛漫さがあつて、誰れもひきこまれてしまふ。今まで無の生活を四十年も續けられてゐる。天香さんが、この生涯に入つた原因は、若年の時、北海道の開拓事業に參加して素晴らしく腕をふるはれたが、小作人と資本家の間がどうしてもうまくゆかない、勞資協調といふをは、どうしてもうまくゆかない、兩方よいのは頬被りだけで、この醜い現實をみて人生を深く考へさせられ身を退いてしまつた。そして發心した動機は、トルストイの『我が宗教』卷末の、我が告日の一節に「生きようとするなら死ね」といつた文字にぶつかり、死ぬと決心すれば生き復るといふ樣な功利的なものでなく、人を凌いで生きると、凌がれる全体が死ぬことである。全体が生きるなら、自分が死んでも本懐ではないか、自分も他人もたゞ水面に偶然發した泡のやうなもので、その泡に執着するのは全体たる水を、知らぬためである。運命を天に任せて食へなければ本体に還ればよい、死ねとは迷妄を離れよとの事で、悟れば全体が自分だ。『よろしい死んで仕舞はふ』といつた感じにうたれ、愛染堂にお籠りし、「人間は生存競爭をしなければ生きられないのだら死なうと決心し三日三晩斷食をなされた。四日目の朝に偶然母親の乳を求むるらしい赤兒の泣聲が耳に入りその時ふと心に閃いたのは、母親の乳と嬰兒との關係は與へて喜び、受けて喜ぶ自利、利他であつてしかもその乳は子が生れると大自然の惠みとして、自然に母の胸から流れだすのだ。張つた乳をのんで貰つて、母親は助かり、のませて貰ふことに依つて嬰兒も成[illegible]れば全く生[illegible]い、喜び合[illegible]間生活の第[illegible]した大自然[illegible]發してさうした恵みによつて成長した人間は衣食住のことは、全く大自然に信じまかせきつて、唯々感謝報恩の一行にいそしむべきだ、と鄭然と大悟し路頭の生活がはじまつたのださうである、今や四十年間この道を唯一條に力强くあゆみお光に任せきつて生活する方が四百名餘の多數となり總坪三萬坪光泉林と稱して一燈園は財團法人であつて、建物三十五もあり印刷所でも、幼稚園でも、小學校でもある喜捨の財物は宣光社で預り、自分は唯それをおあづかりしてゐるだけで、自分は無であると起きて半疊寝て一疊といふ、廢物利用の古材で作つた帖半寮に生活されてゐるのである昭和の聖人といひたい處である

卒業生に呈する詩

（平）住谷芳太郎

一、春の大空
　清く澄み渡る
君達は今この空の
　樣な心で
學の舍を立つて行ゆくのだ

二、君達が學んだ
　學の道
さあ！試錬だ
　大地をふんで頑張るんだ、

三、行手は荒浪
　進め若人
元氣で乘切れ
　荒浪をそこに
成功が待つて居る

四、さらば恩師よ
　學の友よ
久遠に幸あれ
　我は行くなり
實社會へ
　樂しい希望の
陽が光る

異說赤穗浪士（168）

桃川若燕　講
城木喬　畫

怪屋敷

『留守中に仲間を集めて博奕を打つとは不都合な奴だ』

『飛んでもない事でございます。さう云ふ譯ではございません。私が種々御馳走をしてやつて皆んなに來て貰つてゐるのでございます——』

『何故だ』

『ハイ、實は七日ばかり前に久しくお湯に入りませんので、城下の錢湯に參りました』

『ウム』

『すると御出入り町人の木綿屋重兵衛といふ人物が這入つて居りまして、私の身体を見まして立派な身体だと褒めましたので、私も彼の体を綺麗な身体だと云ひますと……』『くだらぬ事を申したな』

『ヘエ、すると重兵衛がそれどころか、漸く生命拾ひをしたところですと云ひますから、巧く云つてるぜと背中を叩いてやりました。すると、直さんお前に叩かれてから嫌になつたと一言、血を一升も吐いて死んで了ひました』

『ホウ』

『すると御檢視も立ち親類の方も來て長患ひの揚句長湯をしたので私が叩いたからではないと判りました……』

『それは當然だ。叩いた位で人間死ぬものではない』

『ところが其の晩から重兵衛が私の枕許に來まして、直さんお前に叩かれてから私は嫌な氣持になつたんだと云ひに來ます、どうもそんなことで寢つかれませんから、大勢を頼んで來て貰つてゐるのです……』

『ウーム、何にしろ厄介な奴だな。少し居ない間に博奕場にしなければ化物屋敷にするも乃公が歸つて來た以上、そんな物は出る氣遣ひはない、何にしろ氣疲れてゐるから早く寢かしてもらひたい』

『ヘエ』

布團を展べさせて、トロ〳〵ト睡ると

『旦那樣〳〵』

と起す者がある

『何んだ、直助か』

『ハイ、何うも不可ません』

『何んだと』

『重兵衛が起しに參ります、誠に相濟みませんが、旦那樣のお傍へお置き下さいますやう』

『仕樣のない奴だな、茲へ來て寢ろ……』

『ヘエ―』

直助を側へ寢かしたが暫らくすると

『旦那樣〳〵』

と起し始める

『どうもうるさい奴だな。何んだ直助』

『ヘエ私が寢て居りますと枕許に重兵衛が參りまして……』

『何に、重兵衛が來ると……それは不思議だな。よし〳〵拙者が行つて片をつけてやる木綿屋重兵衛の寺は確か華岳寺だな』

『ヘエ』

『これから行くから鍬と提灯の支度をしろ』

『でもこれからでは、夜も更けて居りますので……』

『心配をするな』

下郎の直助に仕度をさせる數右衛門、程近い華岳寺の墓地にやつて來た、

『墓は何れだ』

『ヘエ……』

『さう慄へて居ないで早く探せ』

仕方がないので直助が提灯を片手に探し廻る

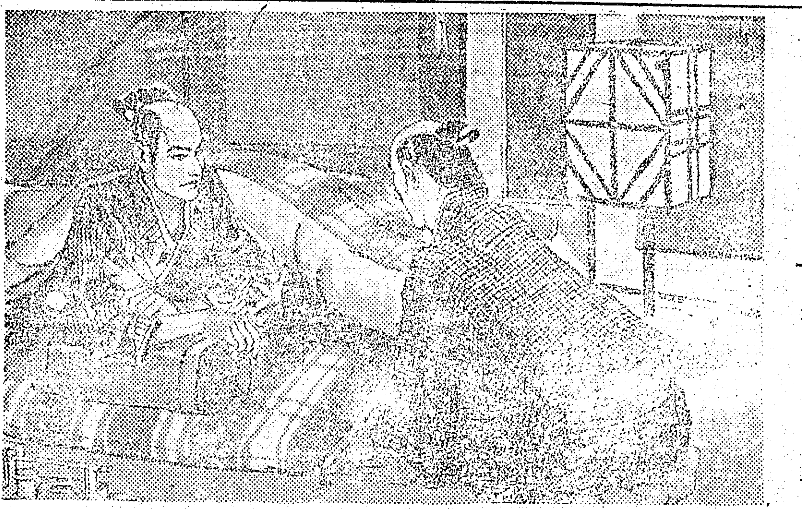
『旦那樣、茲でございます』

『ウム、然うか、此の鍬で掘つて見ろ』

『エツ、掘るんですかい』

『何を愚圖々々して居るのだ。早く掘れ、エヽ面倒だ。斯うするのだ』

と突然墓を引つ繰り返したから直助が驚いた



お花も近く散策日和となりました
お序でにお足の
ゼヒ公園の「さわ和」へお立寄り下さいまお
御休みの御用意を整へました
平公園池の端　電話三二六番

國民精神總動員
日本國民必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報　一部十セン
お取次致して居ります
平二　西村屋藥局　電三

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

酒乙女で
おでん [illegible]
[illegible]

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
サロン
營業時間
開店…午前十時
御飯は夜九時までに願ひます、
閉店…午後十一時限り、
平市銀座街　電話五九二番

純毛類の
純ドライクリーニングは誰が何んと言つても絶對
他店の追隨を許さぬ
ベンヂン純ドライクリーニング機械と優秀なる蒸氣仕上機械使用
白榮舍ランドリー
（クリーニング用の高級原料は豊富に準備してあります）
他店でお氣に召さぬ時は是非一度御試し下さい
正直な仕事と優秀なる技術を
お望みの方は
設備を誇る平市田町の
白榮舍ランドリー
平市地區洗染同業組合員

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平
小名濱町

氷の御用は
電話二二三番
魚問屋へ
鰹節製造販賣
日本生命平代理店
平市四丁目
志賀盛榮商店

良品選んて廉價販賣
パイロット萬年筆
¥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース呈上
平市公園前　角忠　佐々木商店　電話二三三番

ピハマーチ
五十錠入　一、一〇
百錠入　二、〇〇
德用罐　五、〇〇
特約店
平市五丁目
山野邊藥局

お宅の体温計は正確ですか？
無料で体温計を檢査して差上げます、毎月十日はどうぞ御遠慮なくお持ち下さい

醫療藥品　染料塗料
工業藥品　寫眞機材料
有毒藥品　化粧品各種
衛生材料　吸入用酸素
食料品　計量器各種

計量器指定販賣所
みやこ染特約店
小名濱町本町通り
資生堂
電話一四七番

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話（小名濱）一〇三番

◉中古純綿◉純毛掘出し物地縞◉正紺絣◉紺織色、紋平◉メリヤス◉ヂャンバー◉ズボン◉オーバー◉布團類◉作業服◉洋服類
產業戰士必需品豊富荷揃
平市二丁目角
伊關呉服店
電話三三三番

田毎の
みつ豆
田町　電六三三

木炭自給自足に
素晴しき煉炭燒器
家庭で木炭が出來てストーブにも萬點　煮炊も便利
煉炭一ツで三ツの働きをする
農林省推奬
新興國民燃燒器　定價拾七圓　送料荷造共一圓
最少の燃料を以て最大の熱量に增大する新興國民燃燒器は木炭の自給自足が出來ストーブとして萬點で煮炊に便利で特長とする處は薪が燃燒器の中で炭化して木炭になる時に發散する可燃性瓦斯は[illegible]タンク內で煉炭と共に完全燃燒す[illegible]裝置故に煉炭の火力は優に五倍以上の熱量となる[illegible]體裁も優美であり且つ無煙である故に室內何所にでも簡單に使用出來る
各地代理店募集
發賣元　東京市澁谷區千駄谷町五ノ九七七　株式會社杉田與兵衛商店東京支店
代理店　福島縣平市六丁目　伊藤屋商店　電話一八四番

一氣分のよい一
一皆樣本位の一
一喫茶と洋酒一
小名濱町上町
紅椿
【女店員募集】

なんでも炊けて御飯のおいしい便利で經濟な竈
特許　久壽竈（クスカマド）
主婦之友社生活館推奬
二升炊　六圓
三升炊　六圓五十錢
四升炊　八圓
平市二丁目
武田陶器店
電話二二九番

世界的治療機
超短波　時代來る
四百四病の中『ガン』以外は必ず治ると東京帝大眞鍋嘉一郎博士の證明するアコマ超短波治療器にて一日も早く如何なる難病も實驗治療して下さい
お試し下さい　十日間程　無料實驗　朝八時より午後五時迄
福島縣代理店
川崎松之介商店
平市新川町一四

國民擧つて防火塗裝を！
回危險に曝露する木造家屋
回手輕るに出來る防火家屋
回コロイド防火塗料の特長
專賣特許　太陽無機コロイド販賣店
カタログ進呈
大量使用の御注文並團体的御申込へは實驗の御希望に應じます
山田文一商店
平市仲町通り　電話二六二番地

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目　電話685番

高級林檎酒
ミユキ
釀造元　青森縣弘前市　株式會社　御幸商會
福島茨城販賣元　石井德重商店
久ノ濱町　電話三二番

自動車助手男車掌女急募
求人者　野崎交通自動車株式會社
人員　助手五名　車掌十名
年令　十六才以上二十才未滿
希望者履歴書持參左記ニ申込ノ事
平國民職業指導所　電五六二番

遂に郡内へ天然痘浸入

縣衛生技師三坂へ急行

傳染系統調査・防疫陣强化

三阪村大字下三阪農石川文藏（四三）は數日前から紫斑痘で同村石川醫師の診療を受けてゐたが天然痘の疑が濃厚と成つたので今九日平署から澁木次席、兒玉衛生主任が出張、縣衛生課から係官三名が同村へ急行した、今の處傳染系統同人の容態など判然しない爲同署では出張した澁木次席の歸署を待つて對策を講ずべく早くも防疫陣の强化に腐心してゐる

全平市民へ警告

忘れた者も必ず種痘すべし

別項、郡内三坂村に天然痘發生の報を受けた平市では尠なからず脅威を受け、過般執行した臨時種痘を受けない者に對し直ちに種痘するやう全市民へ警告を發することになつた右について市當局は語る

市では各地に天然痘が猖獗してゐるのでこの防疫には充分注意し先に臨時種痘を執行した譯です、遂に郡内に病菌が侵入したのですから全市民は一人殘らず種痘しなければなりません市民の種痘は過般の日割當日から十日間擔當醫師がいつでもやつてくれます、この際市民は一致協力市内に患者を出さぬ樣注意して貰ひたいものです

郷土の隊長

舊部下弔問行脚

兩角部隊の隊長から柴田部隊副官と郷土部隊にあつて奮戰すること三年六ヶ月、最近一線から歸還した山本保大尉は去る二十六日以來福島、郡山、若松と全縣下に亙つて舊部下戰死者を弔問行脚して今九日本社訪問『皆さんの御加護に依つて無事歸還することを得ましたが多數の部下を戰死させたのは誠に殘念です、御紙を通じ郡市民へ宜しく御傳へ願ひます』と挨拶を述べ四倉町へ向つた

同大尉は全國的に有名な仙台市の〃兵隊婆さん〃山本かねじさん（七三）の御子息で四倉町の軍醫少尉木村守江氏が見習士官中指導を受けた上官で同町上の舘出身故山崎才次郎上等兵宅を弔問し四倉一泊する

相撲の人出に

交通輸送混亂

大盛況を極めた昨日の東京大相撲は入場者約二萬人を超え平市は時ならぬ人出で賑つたがこれ等各方面から集つた人々を輸送する各交通機關は次の如く何れも臨時運轉をして輸送に大童と成り平驛の如きは約千人がドット殺到し驛員を面喰はし三輛乃至四輛宛上下列車に增結辛うじて輸送した

△江名二台△小名濱二台△赤井三台△湯本五台△四倉八台△好間三台

郷軍功勞者

郡内十三名表彰

本縣の郷軍地方功勞者二百五十七名が會長井上幾太郎大將から表彰に近く縣から傳達されるが石城郡の關係者次の如し

◇石城郡 △大浦村 矢内榮一、高本善兵衛△川部村、芳賀藤左衛門、蛭田利水、蛭田彌重△勿來町、今村七郎、大竹好松田倉宗一郎、内山吉太郎、上遠野實、菊地良作、長沼正戚、△泉村、佐藤源一郎

眞田博士

北支の工場視察

四倉町磐城セメント工場長工學博士眞田義彰氏は二十日頃北支大同セメントを皮切に中支等セメント工場の事業視察に出發するが約二ケ月間の豫定である

清涼飲料水

サイダー百石增し

ラムネは減石

平税務署管内今年度の清涼飲料水釀造見込數は

サイダー六百石で前年度より百石多くラムネは八十石で前年より幾分減少してゐる

サイダーの出廻は需用季節を控へ既に八十石を釀造してゐるが九月までには六百石の釀造をする計畫である、一方ラムネは砂糖を主原料とするため砂糖配給と照し合さなければならぬため幾分の減石は免れぬものと見られ大した期待は掛けられてゐない

平武德會

新役員

會長以下新任

武德會平分會ではこの程同分會を改組したが役員次の通りである

△會長、久和署長△副會長、澁木次席、諸橋久太郎、山崎與三郎△評議員、青沼市長外各町村長△劍道部長、鈴木良正△柔道部長、橋本芳太郎

春の行樂列車

平驛の計畫決る

〃早咲き〃の違算に狼狽し

日曜中心案も急ぐ

常磐線一を誇る松ヶ岡公園の櫻花季節に備へ平驛では早くから行樂列車の編成を進めてゐたが、今春は自肅の聲を容れて臨時停車場を設けず、臨時增發列車も廢止して增結に主力を注ぎ輸送陣を强化することになつた

☆

花見列車の計畫は十七、八兩日執行する縣社子鍬倉神社祭禮を中心としてゐた處冬季の暖かさから四五日早咲きを豫想され、十三日の日曜日頃は五分咲きとなつて相當人出あるものと見られてゐるので花見列車にとんだ違算を生じ、平驛ではこの櫻の〃早咲き〃に備へ十二、三の兩日は別に緊急プランを樹てる模樣であるこれが爲花見までに備へる豫定の擴聲器も〃早咲き〃のため間に合はず〃早咲き〃にはさんく惱まされてゐる

【十六日】常磐線湯本行午後十時三十五分ガソリンカーは二輛連結

【十七日】湯本行午後九時三十二分並に同十時三十五分發ガソリンカーは列車六輛連結に變更、磐越線小川郷行午後九時三十五分ガソリンカーは六輛連結列車に變更

【十八日】湯本行午後十時三十五分ガソリンカーは二輛連結にまた終日上下各列車共三輛の增結をする

あす忠魂祭

雨天の際平武德殿で

明十日の郡、市聯合忠魂祭は平市松ヶ岡公園忠魂碑前に執行するが雨天の場合は平署武德殿に於て執行するやう變更することに決定

工程遅れた

蒟蒻製粉工場

五月操業に漕つくか

既報、石城販利組合が五月初旬から操業すべく設備を急いでゐる蒟蒻製粉所は、專門機械の一部脱落してゐること發見これがため多少工程遅れたが近く上京する大高專務が前記の機械及附屬品を購入急送することになつたので大體豫定通り操業開始出來るものと見られてゐる

尚同工場に裝置する目新らしいものは專賣特許の飛粉沈澱機で一晝夜に荒粉二駄半碎く能力と從來逸してゐた飛粉が價格にして約九圓位浮ぶことになり工業用の糊原料に利用される

銃後會寄附

平市舊城山鈴木寛氏は亡父廣吉氏の遺志に依り九日金五十圓を市銃後奉公會へ

花見取締り

四倉警察署では明十日開かれる藝妓組合總會を機會に花見の取締り事項を示達することになつた

平市分會の

愛婦獻納機

三千六百圓集る

愛國婦人會平分會の軍用機獻納寄附金はこの程平窪を最後にやうやく纒つたが總額三千六百圓である、うち五十圓台の寄附は約三十名あつた

農事功勞者表彰・

農會記念日の計画

既報、平市農會主催市内農事實行組合長會議は十一日の農會記念日をトし公會堂に午後一時から開くが同會議に表彰する十五年度堆肥二毛作、夏蔬菜品評會入賞者は次の如く決定した、

◎一等 （大豆）大須賀一（大麥）會川元次郎（菜種）福田藤平（馬鈴薯）林未代守（茄子）吉田丈助（堆肥）鈴木武千代（堆肥）吉田甚三郎

◎二等 （大麥）關場益一（同）鈴木一久（同）福田貞藏（同）吉田吉郎右門（同）立澤和養（同）木田一郎（菜種）小野忠作（胡瓜）松本晃一（茄子）高田彌内（馬鈴薯）薄葉美雄（同）石井爲清（堆肥）吉田庄一（同）吉田丈助（同）大山新次（同）矢吹平一

◎三等 薄葉藤千代氏外三十三名

水稻增收獎勵

一等賞『緬羊』

二、三等豚一頭、四等兎

別項、農事實行組合長會議で市農會で食糧增產獎勵の建前から十五年度に於て試みた第一回水稻增收品評會入賞者次の如く何れも優秀な成績を納め一等は反當り四石二升で一等賞『緬羊』一頭を入賞者薄葉竹松氏に贈る、尚ほ二等、三等には『豚』一頭、四等には『家兎』一番をそれぞれ贈られる筈で家畜獎勵の褒賞授與には關係者を微笑ませてゐる

△一等上平窪薄葉竹松（反當り四石三升）△二等中鹽立澤和養（三石九斗九升）△三等、中塩吉田基之助（三石九斗六升）△四等、中平窪上妻久翁（三石七斗二升）同中平窪岡部直久（三石六斗九升）同中平窪川崎嘉右衛門（三石六斗六升）同中塩矢吹平一（同）

共盛丸

表彰される

三十二萬圓水揚

江名町漁業組合長黑川喜一郎氏經營の揚繰漁船共盛丸は秋職二十四萬圓春職八萬圓で計三十二万圓の漁獲を上げ江名町第一等の成績で來る十三日には榮ある表彰を受ける

水産デー

江名の催し

江名漁業共同組合では水產デーの十三日午前九時より江樂館に於て優良漁船の表彰式を擧行するが當日水難救護會の總會も開き縣水產課長、平署長等も臨席する

洗濯屋會議

市から九名出席

東北六縣洗染クリーニング商業組合（全國第九部）東北ブロック會議は今九日仙台市に開かれるが平支部から縣理事で支部長の永山眞彦、同副海老原幸四郎兩氏の外幹部七名出席、左の件を協議する

1、業界實情調査の件

2、揮發油綿布其の他資材調査の件

3、組合整理の件其の他

鰯の不漁から

製造家悲鳴

經營に新案練る

小名濱揚繰漁業は春職に入つて以來時化續きで偶々出漁すれば沿岸には鮮魚商製造業者は今や遲しと自動車、馬車を擁して待機してゐる、その仲買人の數は百余人に及び春職以來出漁しても餘り大漁がなく、水揚げされる鰮は公平に一般商人の人には渡らず、內揚げと稱し魚市場の手を經ず船主より好む商人に直賣される關係と船主と特殊關係を有せざる商人は毎日海岸に船を待つても一台の鰮も入手出來ないと云ふ現狀で大きな製造工場を有する商人は自ら揚繰船を自營せざる限り多數使用人を擁し大工場を經營しながら拱手傍觀と云ふ皮肉な狀態にあり各製造業者ともこれが對策に腐心してゐる

從つて生鰮の相場は未曾有の高値を示し六圓五十錢を超え、頰刺しの如きは十七圓五十錢から十八圓の相場を生み尙市場に殆んど品がない仕末で終了期が近づくに連れ斯うした狀況が一層深刻化するものと見られてゐる

通學乘車券

學校所在地平驛で販賣

水戸運輸事務所では既報の如く列事通學生の不正を防止する目的の下に四月一日から學生の通學乘車券には寫眞を添附する外學校所在地驛以外に販賣せぬことになつた爲從來通學驛で購入してゐた市內中等學校生徒の乘車券購入申込みが一時に平驛に殺到、二千三百名の多數に上つてゐるため一日以來整理したもの約千八百名で全部を了するに尚三、四日要するものと見られ、出札係員は通學券で忙殺されてゐる

尚八日までの販賣一千七百八十七校に對する運賃は三萬八千九百二十一圓三十五錢に達してゐる

資材難から

土木工事惱む

繰越事業今年も難色

平市の新年度へ繰り越された土木工事は縣立工業學校敷地埋立九萬九千圓を筆頭に十萬九千七百八十五圓で工事個所次の如く大部分は資材關係に支配されて居り本年度には着工されるものと期待されてゐる

◇經常部 舊平市部の道路橋梁費、千五百圓

◇臨時部 △大町通り道路改良費、九百圓△舊鎌田橋改良費、五百五十三圓△材木町堂の前中町地內排水工事道路費、千五百十六圓△紺屋町古鍜冶町地排水路道路、工事費七百八十四圓△公會堂庭園費、二百四十六圓△堂の前新川端配水管布設工事費、七百八十九圓△同水道費大町裏通り、五百二圓△全水道費鎌田町第三小學校通り八百一圓△同水道費柳町通り二千十八圓△同水道費一丁目外八百七十四圓△縣立工業學校埋立費九萬九千三百圓

會計十萬九千七百八十五圓

前記繰越金の內水道費は殆んど前年度の全豫算そのまゝ今年へ繰越され鐵材が大部分なので今年度の着工も相當難色ある模樣

父兄へ告ぐ

〃國民學校の認識〃

〔6〕 鐸木圭太郎

（五）各教科目の特色發揮と關聯

科目｛國民科 理數科 體鍊科 藝能科 實業科｝と區分され、國民科は我が國の道德、言語、歷史、國土、國勢について學ばせ、國民的知識や情操を涵養する言ひかへると各教科はそれぞれに特質をもつてゐるからその特質を發揮するやうにしなくてはならない。しかしこゝになんでも統合と考へてはいけない、かへつて生命を奪ふことになる。時によるとそのため目的が失はれて漫然たるものになり主旨に合致しないものになるそれはとにかく教科として其の特色を發揮するがそれと同時に關聯を持たなくてならない、例へば修身に出た教材が國史にも說くやうにするとか、一方でくわしく他方に於て簡單に取扱ふとか國民科國語にメダカの文が出たならこゝで言語的に取扱ふとすれば理數の方から數理的にも理科的にも取扱ひ藝能科圖畫に表現へと導くやうに凡て教育が理窟ぜめでなく各教科共それ自體の特色を發揮しつゝも結局は國民としての錬成に到らしめよといふのである。

遺家族慰問

『美杉會』

三曲演奏會

平市二丁目美杉會飯村杉幾さん主催の出征軍人遺家族慰問三曲演奏會は十二日午後二時から平市公會堂に開催するが演奏プログラムは次の如く當日は特に中央でも有名な町田杉勢師が特に出演することになり盛況を豫想されてゐる、尚遺家族以外の同好者も來市を觀迎してゐる

1「愛國行進曲」2「朧月」3「櫻、螢」4「千鳥」5「近江八景」6「チヨコレート」7「六段」8「初便り」9「三ツの景色」10「新娘道成寺」11「松風」12「春の曲」13「楫枕」14「都の春」15「末の契」16「松竹梅」17「吾妻獅子」

渡邊校長

着任挨拶

平第一國民學校長渡邊壽重氏は九日平市內各官公衙へ着任の挨拶を爲した

立花雄七氏

千葉醫大で死去

小名濱町漁業家八島屋主人立花雄七氏は病氣の爲め療養中であつたが、千葉醫大附屬病院に於て七日午前五時逝去した、享年五十四・葬儀は來る十一日午後三時自宅に於て執行する

立花氏は八島屋の屋號で代々漁業を營み本縣代表的漁業家で全國にその名は知られてゐる。氏は町議たる五期、漁組理事でかつては組合長たり縣水產會、縣水產會議員で、小名濱町としては一支柱を失ひいたくその死を悼まれてゐる

商況

（九日）

【野菜】	
葱	二〇
人參	三〇
蓮蓮草	四〇
大根	二〇
油菜	七
ニラ	一五〇
水菜	六五
大和薯	一四五
平薯	一二〇
切薯	一三〇
馬鈴薯	四八
【鮮魚】	
目拔	一三、四
ドンコ	一〇、〇
アカヂ	二〇、〇
ノドグロ	二五、〇
カド鰯	八六、〇

今週映畫

平館 ◎松竹映畫 三浦光子、德大寺伸主演「幸福な家族」◎日活映畫、嵐寛壽郎大倉千代子主演「北海に呼ぶ武士」◎松竹映畫、高田浩吉、北見禮子主演「二本松少年隊」◎文化映畫「幼なき翼」日本・海外・ニュース

世界館 ◎新興映畫、春日井梅鶯口演、市川男女之助主演「神崎東下り」◎新興映畫青山三郎主演「暖きふる里」◎新興映畫「斧音」荒波武士道・文化映畫・ニュース

聚樂館 東寶映畫花井蘭子、天中軒雲月主演「鈴蘭の妻」◎黑川彌太郎、美ち奴主演「虎造の荒神山」◎日本貿易「砲煙」ニュース

平市慶弔錄

【出生】△平市南町十四番地野口丈夫二男寛治さん△平市長橋町二十四番地泉千代治長女壽美さん

【死亡】平市大工町二十六番地石澤きん（五三）さん△平市字堂ノ前三番地佐々木梅雄（一九）さん

舊 三月十四日

新 四月十日

木曜 戊子 佛滅 成 奎宿

▲一白 吉運と雖輕卒に事を企つれば不安を增す日

▲二黑 身心動搖し進退決せず遲々として得るなし

▲三碧 目的は成功に近付つゝあり投機は外るべし

▲四綠 內外を堅固に守るべき日誘惑は危險と知れ

▲五黃 時機早きに失して意の如くならず辛抱肝要

▲六白 不用意の言動に依り思はぬ失敗を見るべし

▲七赤 一方を切り拔くるも一方より攻めらる如し

▲八白 榮譽を永く保ち難く不安の念の起るべき日

▲九紫 氣運旺盛なれど目下の爲に苦勞する事あり

天氣豫報

今晩 南の風曇りからのち雨模樣

明日 南の風多少の雨がありますが後曇り勝ち

（十日）

滿潮 前三、[illegible] 後三、五五

干潮 前九、三五 後九、一〇

愈々運動のシーズン來る

スポーツ……ハイキングに！

聖戰下の……體位向上を！

靴と運動具の 大塚へ

平市田町銀座通り 電話七七番

野球、庭球、陸上競技、卓球、体操用具

ハイキング用具 チヤンバーとズボン ワイシヤツ （各種運動服裝類）

〔公定價格〕

氣持の良い衛生施設で

魚がし 食堂開店

小名濱町橋本

山マス食堂部 電話七五番

磁氣治療開業

マグネタイザー適應症

●高血壓 ●胃腸病 ●蓄膿症 ●痔疾患 ●中風病 ●脚氣 ●泌尿 ●心臟病 ●神經痛

●生殖器諸症 ●カリエス ●呼吸器病 ●婦人病 ●小兒虛弱體 ●ロイマチス ●ゼンソク ●其他諸症治療

治療所 平市田町シンガーミシン會社二階 平磁惠院物理治療

內科、外科、花柳病科

小兒科、耳鼻、咽喉科

レントゲン科

高久病院

院長 醫學士 高久忠

平市田町 電話五一三番

大衆向きの小口保險 三百圓より大口契約も

板谷生命保險株式會社

小名濱代理店 比佐政種

好條件で外交員募る

電話 高價に買ひたし

（姓名在社）

御會葬御禮

昭和十六年四月九日

平市一丁目

酒井寅之輔

外親戚一同